

学習力

指導方針

学年に応じた「学び方の目標」を目指して、「自ら進んで学ぶ力」を定着させていきます。

学び方を工夫し目標達成する力は、自ら学び続けるために大切な力です。中学や高校では、定期テストや入試などの目標に対し、計画を立てて学習することが必要となります。その基盤となるのは学習習慣と、自分が立てた目標に向かって学び、学んだことを振り返るといった意識や態度が身につくことです。小学校の段階では、学習習慣、自己評価・振り返り・調整の力を中心に、「学び方」についての目標を設定しています。

各学年で目指す学習力のゴール

1年生	おうちのかたと決めた学習の約束に従って、おうちのかたと一緒に楽しく学習する。	学習習慣
2年生	おうちのかたと決めた約束に従って、声をかけられたら自分からすすんで毎日の学習ができる。おうちのかたと一緒に勉強の見直しができる。	振り返り
3年生	おうちのかたに言われなくても自分から毎日学習する習慣がある。まるつけの結果をみて、自分から見直しができる。	学習習慣 振り返り
4年生	1週間程度の期間を意識しながら、毎日やることを決めて自分で学習することができる。自分でまるつけ・見直し・とき直しができる。	学習習慣 振り返り
5年生	自分で目標を決めて、決めたとおりに学習を進めることができる。勉強が予定通りに進んでいないときがあれば、自分で工夫して予定をたて直している。	学習習慣
6年生	目標や計画を自分で考えて学習を進め、成果を確認し学習を見直す、「中学でも伸びる学習方法、姿勢」が身についている。	学習方略